



中国・四国・九州の
低地のチョウ

モニタリング調査のためのチョウの識別ガイド

チョウは自然環境の指標として優れており、チョウを調べることで、自然環境の変化を知ることができます。

チョウの種や個体数を継続的に調べるモニタリング調査は、イギリスで1970年代に始まり、その後、ヨーロッパ全域で取り組みが進められています。日本でも環境省のプロジェクトであるモニタリングサイト1000において調査が進められてきました。

日本チョウ類保全協会では、チョウのモニタリング調査をさらに多くの場所に広げるために、ヨーロッパにおけるチョウ類モニタリングのプロジェクトであるeBMSに参加し、普及活動を進めています。この識別ガイドは、モニタリング調査での種の識別に役立てるために作成しました。

チョウのモニタリングの調査方法をまとめたガイドブックも別に作成しています。

チョウはさまざまな環境に生息しており、モニタリング調査は身近な場所で、どなたでも始めることができます。

関心をお持ちの方は、日本チョウ類保全協会までお問合せください。

チョウを調べることは、豊かな自然環境を守るにつながります！

日本のチョウとその生息環境

日本には、約240種のチョウが生息しています。北海道から沖縄まで南北に長く連なり、3,000mを超える山地もあることから、気候に応じて様々な環境があり、多様なチョウが見られます。

チョウはもっとも身近な生きもののひとつで、都会～山地まで様々な環境に生息しています。チョウは種ごとに好む環境があり、それはチョウの幼虫の餌となる植物(食草)の生育場所と結びついています。チョウの生息環境は、大きく分けて、森林と草原の2つに分けられますが、森林や草原のタイプによって生息する種も異なってきます。また、森林と草原が接する林縁は独特の環境となり、チョウの生息環境として、重要な場所となっています。

そして、都会の公園、農地、河川、丘陵地、山地といった土地利用や地形、地域によって様々な環境が生まれ、それぞれの環境を好むチョウが生息しています。そのため、多くの種のチョウを観察するには、様々な環境を歩いてみるのが重要です。

本識別ガイドの利用方法

このガイドでは中国、四国、九州地方の平地～丘陵地で、もっともよく観察できるチョウを中心に約100種を掲載しました。

すべての種は載っていないため、モニタリング調査時には、ここに掲載されていないチョウが見られる場合もあります。少しでも違うと思ったチョウは写真などを撮影して、より詳しい図鑑で調べてみましょう*。

このガイドは、以下のように作られています。

- ・チョウは科ごとに並べることを基本にしたが、色や模様が類似して初心者が混同しやすい種は近くに配列した。
- ・雌雄で特徴が大きく異なる場合は両方を掲載し、オス：♂、メス：♀の記号で表示した。
- ・成虫の大きさは、大、中、小の3段階で色分けして表示した。写真のチョウのサイズは原寸ではなく、縮尺も一定ではない。 小型：🦋 中型：🦋 大型：🦋
- ・種ごとに、観察できる環境を簡単に紹介した。
- ・特徴が似たチョウの識別ポイントは矢印と文章で表示。文中に雌雄が明記されていないものは、雌雄に共通した特徴である。
- ・種名の下の一バーは、成虫が観察される時期を大まかに表示。可能性のある時期として広めに表示している。本ガイドの対象地域の範囲が広いので、対象地域内の暖かい地域では成虫が観察される時期が長く、寒い地域では短くなる。



モニタリング調査におけるチョウの識別

トランセクト法によるチョウのモニタリング調査は、歩きながら観察して行います。飛んでいて種の識別が困難な場合には、そのチョウが止まるまで追いかけたり、必要最小限の捕獲や写真撮影を行うこともあります。その際、カウントする範囲（両側合わせて10mの幅）をチョウが外れて飛んでゆく場合がありますが、一度カウント対象になった個体を識別のために追いかけることには問題はありません。ただ、その際に調査範囲外にいる他のチョウを数えないよう注意が必要です。

成虫が止まっても識別が難しい種もあります。スジグロシロチョウ・ヤマトスジグロシロチョウ・エゾスジグロシロチョウの3種、サトウラギンヒョウモンとヤマウラギンヒョウモン、サトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲ、イチモンジセセリの仲間、それにミドリシジミの仲間などです。また、飛翔していることが多く識別が難しい種には、キタキチョウとツマグロキチョウ、ヒョウモンチョウの仲間などがあります。こうした種では、それぞれの種の分布や生息している環境、珍しさなどを加味して識別しますが、それでも識別が困難な場合には、「黒色のアゲハ類」「モンシロチョウまたはスジグロシロチョウ」などわかる範囲までで記録します。モニタリングのデータの報告では、このように、グループとして記録もすることができます。



これから本格的にチョウの観察を始める方へ

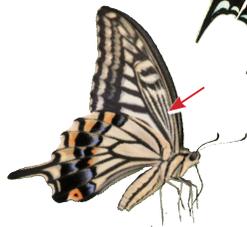
このガイドには、普通に見られるチョウの大部分が載っています。モニタリング調査をきっかけに、観察をはじめられた方もいるでしょう。最初は難しく感じても、慣れると識別できるようになってきます。

- まずは、このガイドを繰り返し眺めましょう。ある程度の種のチョウが頭に入っていると、野外で観察した時に、すぐに名前が出てきます。
- 年間で、緑地の多い公園で30種程度、丘陵の雑木林では50種程度が観察できます。自然が豊かな場所に行ってみると、多くのチョウに出会えます。
- 模様が似ているチョウの識別は、最初は難しいものです。そのため、わからない種に出会ったら写真を撮影して、家に戻ってから調べるとよいでしょう。これを繰り返すことで、名前がわからないチョウが確実に減っていきます。
- チョウはグループや種により飛び方や飛ぶ高さ、飛ぶスピードなどに特徴があります。翅の色や模様だけではなく、その他の特徴についても観察してみましょう。
- チョウの観察会に参加するなど、チョウ類の識別に詳しいベテランの方と一緒に野外を歩きながら教わることも、識別習得の早道となります。

※日本チョウ類保全協会編「増補改訂版 フィールドガイド日本のチョウ」(誠文堂新光社発行)は、すべての種が掲載されており、おすすめです。



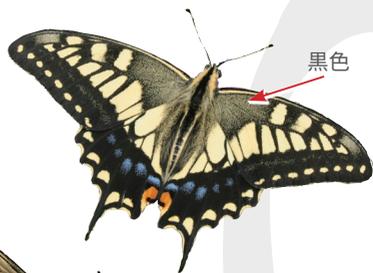
黒い線状



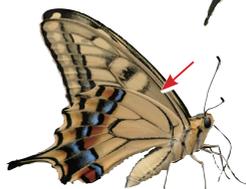
都会の住宅地から山地
まで、もっとも普通

アゲハ *Papilio xuthus*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



黒色



都会の住宅地から山地
まで普通。湿地を好む

キアゲハ *Papilio machaon*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



都会の公園から
低山地の樹林周囲



♂は白斑



♂
尾はない

公園や住宅地、
果樹園、樹林



♀
赤い斑紋



♀
♀で稀に
尾あり
♀は白い斑紋

クロアゲハ *Papilio protenor*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



細長いシルエット

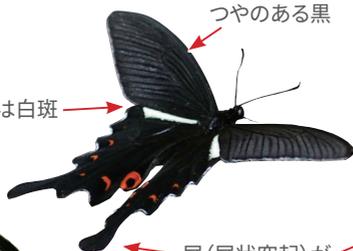
ナガサキアゲハ *Papilio memnon*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



細長いシルエット

♂は白斑



つやのある黒

♂はつやのない黒



♀の表は黄灰色



尾(尾状突起)が
長い
溪流沿いに多いが、
公園でも稀に見られる

♂
体は赤色の模様



♀
緑地や河川堤防、
森林の林縁など

オナガアゲハ *Papilio macilentus*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous*

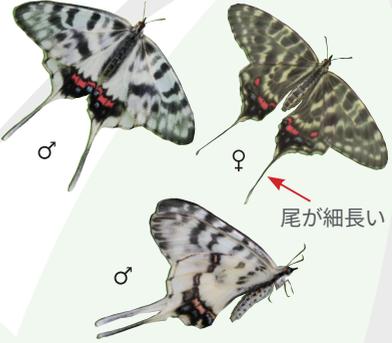
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



丘陵地～山地の
落葉広葉樹林

丘陵地～山地の草地や
樹林の周辺

外来種で、河川堤防や
丘陵地に稀に見られる



ギフチョウ
Luehdorfia japonica

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ウスバシロチョウ
Parnassius citrinarius

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ホソオチョウ
Sericinus montela

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

尾が細長い

都会の公園から山地

カラスアゲハより珍しく、
丘陵地や山地、海岸部



帯は
広がる

帯は細く
同じ幅
夏型

春型はこの白
帯が明瞭。
夏型は不明瞭
～消失

春型

カラスアゲハ *Papilio dehaanii*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ミヤマカラスアゲハ *Papilio maackii*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～丘陵地に多い

都会の街路樹や
公園にも普通

照葉樹林のほか、神社、
公園、街路樹



黄白斑が
目立つ



帯は
水色



帯は
青白色

縁に斑点列

モンキアゲハ *Papilio helenus*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

アオスジアゲハ *Graphis sarpedon*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ミカドアゲハ *Graphis doson*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



都会や農地周辺などで
もっとも普通

夏型



春型



都会の公園や丘陵地～山地に普通

翅脈が黒色



夏型



モンシロチョウ *Pieris rapae*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



スジグロシロチョウ *Pieris melete*

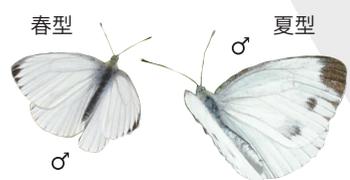
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



平地～山地の樹林
や農地周辺の草地
に普通



樹林。この地域では
宮崎・鹿児島



春型

夏型



ツマキチョウ
Anthocharis scolymus



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の公園から山地まで
様々な草地に普通



ツマベニチョウ
Hebomoia glaucippe



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の住宅地から山地
まで様々な環境に普通

丘陵部～山地にみられるが、スジグロシロチョウより少ない。野外でスジグロシロチョウと識別するのは困難なため、モニタリング調査での識別は必要なし

ヤマトスジグロシロチョウ
Pieris japonica



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～丘陵地の草地。
農地周辺や河川堤防など

飛翔中はキタキチョウ
との識別は困難



♂

♀



夏型

黒帯が
ほぼ消失

不明瞭な黒点
が散らばる



秋型



夏型

不明瞭な黒線
秋型



ツマグロキチョウ
Eureka laeta



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

モンキチョウ *Colias erate*



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

キタキチョウ
Eureka mandarina



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の公園や農地周辺に普通



春型

夏型

ベニシジミ *Lycaena phlaeas*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の公園や樹林に普通



♂

♀

裏は銀白色で一樣

ウラギンシジミ *Curetis acuta*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

竹林やササが生えるやや暗い場所



裏は基石状の黒斑

ゴイシジミ *Taraka hamada*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

丘陵地～山地の雑木林に多いが、都会の公園でも稀に生息



白い線

縞模様

アカシジミ *Japonica lutea*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

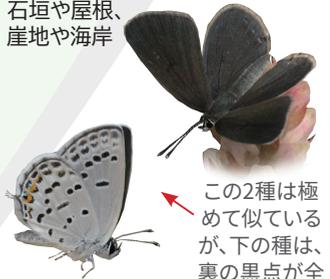
丘陵地～山地の落葉広葉樹林

ハンノキ類の生える湿地や丘陵地～山地の樹林

ミズイロオナガシジミ *Antigius attila*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

石垣や屋根、崖地や海岸



この2種は極めて似ているが、下の種は、裏の黒点が全体に多い

クロツバメシジミ *Tongea fischeri*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

河川堤防や公園、人家周辺の草地。外来種で、分布が拡大



赤斑は途切れる

♀は斑紋に4タイプあり

オオミドリシジミ *Favonius orientalis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus*

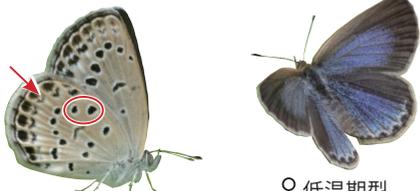
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



ムシャクロツバメシジミ *Tongea filicaudis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の住宅地や公園でもっとも普通



ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

♂は淡い青紫色 都会の公園～山地まで普通
♀は青白色



ルリシジミ *Celastrina argiolor*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

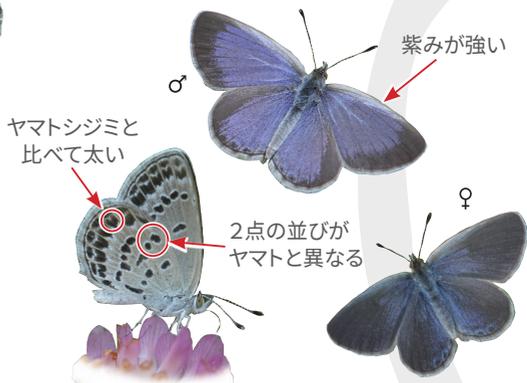
都会の公園～農地周辺まで様々な場所



ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

河川堤防や農地、採草地などの草地に見られ、一般には非常に稀。一部、多い地域もある



シルビアシジミ *Zizina emelina*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

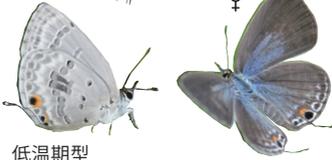
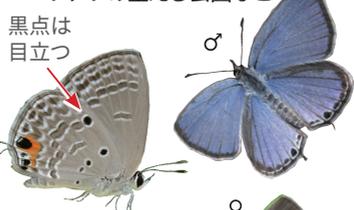
♂は暗い青紫色 丘陵地や山地の川沿いに多い
♂は青色に輝く 樹林周囲や人家、公園
♀は紫青色で黒縁は広い



スギタニルリシジミ *Celastrina sugitanii*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ソテツの生える公園など



クロマダラソテツシジミ *Chilodactylus pandava*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ヤクシマルリシジミ *Acyrtopteryx puspa*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

トカラ列島以南に主に分布するが、九州・四国でよく記録される



アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

不明瞭な黒斑 公園、農地周辺や河川堤防などの草地に多い



♂
♀
♀低温期型
ツバメシジミ *Everes argiades*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

近縁種に台湾ツバメシジミ *E. lacturnus* がいるが、生息地に限られる



♂
♀
ツバメシジミとの識別点は、後翅裏面の黒点が4つとなること

丘陵地～山地の樹林



♂
♀
不規則な白線
コツバメ *Callophrys ferrea*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

♂は淡紫青色に白斑 ♀は大きな白斑 黒縁は広い



♂
♀
弦月斑なし
裏はルリより白身が強い
サツマシジミ *Udana albocaerulea*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

都会の公園～低山地の樹林



♂
♀
尾状突起
斑紋はやや不明瞭
ムラサキシジミ *Arhopala japonica*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

樹林、公園や街路樹のマテバシで発生

丘陵地～山地の落葉広葉樹林



♂
♀
2列の黒点
ウラゴマダラシジミ *Artopetes pryeri*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

都会の公園～山地。数は少ない



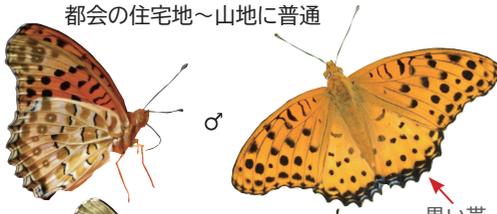
♂
♀
裏に褐色の帯
トラフシジミ *Rapala arata*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

丘陵地～山地の川沿いの林道に多い



♂
♀
アオバセセリ *Choaspes benjaminii*
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

都会の住宅地～山地に普通



♂

♀

黒い帯

白帯は3本

丘陵地～山地の
樹林周囲の明るい環境

♂は4本の太い
線が目立つ

♀のこの部分には、
緑色の鱗粉

ツマグロヒョウモン *Argynnis hyperbius*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



ミドリヒョウモン *Argynnis paphia*

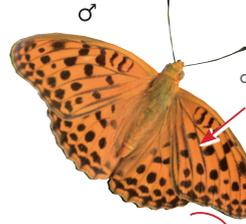
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



丘陵地～山地の
樹林の周辺

斜めの黒点

主に丘陵地から山地の
樹林周囲の草原



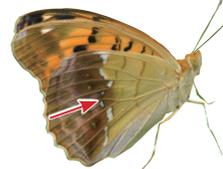
♂は3本の太い
線が目立つ

白帯は1本で不明瞭



外縁が内側に
くびれる

白帯は1本で、
その内側は緑味が強い



メスグロヒョウモン *Argynnis sagana*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



オオウラギンスジヒョウモン
Argynnis ruslana

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



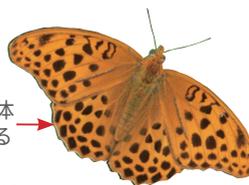
丘陵地～山地の広い草原

丘陵地～山地の樹林の林縁

平地～山地の草原



黒斑が全体
に散らばる



翅は丸みが
あり、外縁は
直線的



♂は2本の太い
線が目立つ

翅の裏に銀斑
が散らばる

サト・ヤマの2種
は非常に似てお
り、識別は困難

白斑

淡い雲状
模様

白帯は1本で、
その外側はオオ
ウラギンスジよ
り赤みが強い



サト・ヤマウラギンヒョウモン
Argynnis locuples, A. nagiae

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

クモガタヒョウモン
Argynnis anadyomene

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ウラギンスジヒョウモン
Argynnis laodice

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都市の公園、農地、
河川などの草地

都市の公園～山地
の草地や林縁

都会～山地の公園、
農地、河川の草地



青紫色
の斑点 夏型

秋型



外縁のみ
赤色

暗い



全体が赤橙色

明るい

キタテハ *Polygonia c-aureum*

アカタテハ *Vanessa indica*

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

丘陵地～山地の樹林に多いが
都会でも稀に見られる

九州に生息するが、さら
に北でも記録される。
荒地や農地周辺

南西諸島に生息するが、
稀に本土で記録される。
荒地や農地周辺



青色の
縁取り



夏型

秋型



ヒオドシチョウ
Nymphalis xanthomelas

タテハモドキ *Junonia almana*

カバマダラ *Danaus chrysipus*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

丘陵地～山地の樹林

平地～山地の広葉
樹林の明るい林縁

成虫は長距離移動し
各地に飛来



突出



♂

♀



テングチョウ *Libythea lepita*

イシガケチョウ
Cyrestis thyodamas

アサギマダラ *Parantica sita*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都市の公園や山地の樹林に普通 丘陵地～山地の樹林。川沿いに多い 住宅地や公園のユキヤナギで発生



コムスジ *Neptis sappho*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～山地の樹林

この白斑が小さく外側に寄る

白斑が明瞭

ミスジチョウ *Neptis phylax*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～丘陵地の谷戸や河川堤防など

白斑が目立つ

ホシミスジ *Neptis pryri*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

丘陵地～山地の樹林の林縁

夏型

春型

イチモンジチョウ *Limenitis camilla*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

都会の公園～山地の樹林に普通。成虫を見ることは少ない

○の黒線は、イチモンジ：平行 アサマ：V字状

アサマイチモンジ *Limenitis gloriifica*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

外来種で、今後この地域でも侵入が懸念される種

春型

夏型

サカハチチョウ *Araschnia burejana*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～山地の樹林の林縁



橙色の複眼と黄色の口吻

夏型には赤斑列

ゴマダラチョウ *Hestina persimilis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

アカボシゴマダラ *Hestina assimilis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ダイモウセセリ *Daimio tethys*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



都会の公園～山地の林縁に普通



丘陵地～山地。川沿いの林道に多い



南西諸島に生息するが、稀に本土で記録される。草地



中央部に濃色の帯



スミナガシ *Dichorragia nesimachus*



アオタテハモドキ *Junonia orithya*

ルリタテハ *Kaniska canace*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

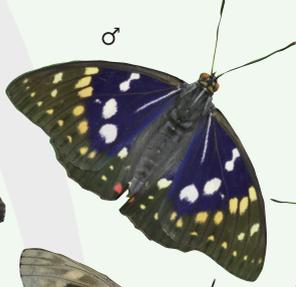
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

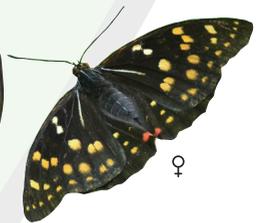
平地～山地のヤナギ類で発生。湿地や川沿いに多い



橙色が白色になるタイプあり



丘陵地～低山地の樹林



コムラサキ *Apatura metis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

オオムラサキ *Sasakia charonda*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ハナミョウガなどが生える樹林の周囲

平地の樹林の暗い場所に多い

丘陵部の谷戸や、農地・樹林周辺の明るい草地

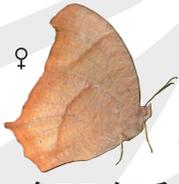
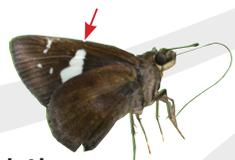


近縁種にウスイロコマチョウ。南西諸島に分布するが、稀に本土で記録される



眼状紋の中央は瑠璃色

セセリチヨウ科



クロセセリ *Notocrypta curvifascia*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

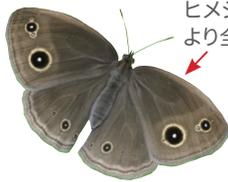
クロコマチョウ *Melanitis phedima*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

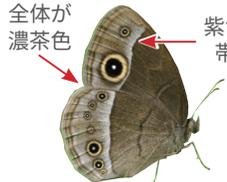
ジャンメチョウ *Minois dryas*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

丘陵地～山地の樹林の
やや暗い場所



ヒメジャノメ
より全体が濃色



全体が
濃茶色

紫色みを
帯びる

都会の公園～丘陵地の農地周辺
や河川などの明るい草地



全体の色
は淡い

黄色みを
帯びる



都会の公園～
丘陵地の樹林

山地には近縁種の
ヤマキマダラヒカゲ。
2種の識別は
困難



コジャノメ *Mycalesis francisca*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ヒメジャノメ *Mycalesis gotama*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

サトキマダラヒカゲ
Neope goshkevitschii

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----



都会の公園～
山地の樹林



平地～山地の
樹林



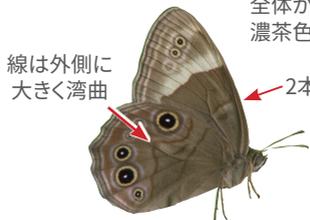
疎林や農地周囲の明るい樹林



全体が
淡褐色

線はやや
直線的

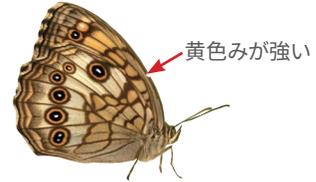
1本



全体が
濃茶色

線は外側に
大きく湾曲

2本



黄色みが強い

ヒカゲチョウ *Lethe sicelis*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

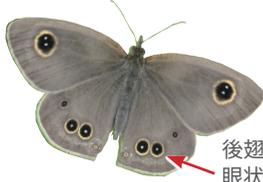
クロヒカゲ *Lethe diana*

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

キマダラモドキ
Kirinia fentoni

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

平地～丘陵地の農地周辺。
河川・樹林周囲の草地

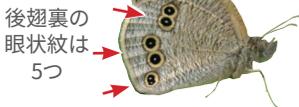


後翅表の
眼状紋は
2つ以上

平地～丘陵地の農地周辺
や樹林周囲の草地や湿地



後翅表の
眼状紋は
1つ



後翅裏の
眼状紋は
5つ



後翅裏の
眼状紋は
3つ

ヒメウラナミジャノメ
Ypthima argus

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

ウラナミジャノメ
Ypthima multistriata

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

♂ 丘陵地～山地の樹林



黄橙色
の斑点



♀

ミヤマセセリ
Erynnis montana

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

河川や農地周辺の明るい草地

低山地～山地の林縁

都会の公園～丘陵地の
樹林周囲の草地裏に銀白線。
夏型はやや
不明瞭

春型

夏型



翅脈は黒色

ヒメキマダラセセリ

Ochloides ochraceus

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

表の橙斑に
濃色の縁取り

キマダラセセリ

Potanthus flavus

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ギンイチモンジセセリ

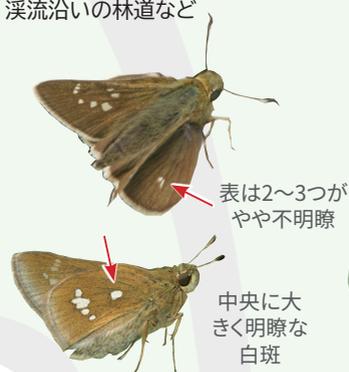
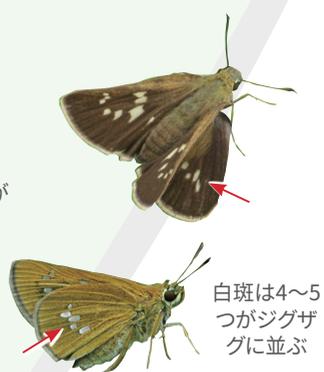
Leptalina unicolor

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

秋に数が増え、都会の花壇にも普通

河川や丘陵地、谷戸の草地、
溪流沿いの林道など

丘陵地～山地の樹林周囲の草地

4つの白斑は
一列に並ぶ表は2～3つが
やや不明瞭中央に大
きく明瞭な
白斑白斑は4～5
つがジグザ
グに並ぶ

イチモンジセセリ

Parnara guttata

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

秋に数が増え、都会周辺から
農地など様々な場所

ミヤマチャバネセセリ

Pelopidas jansonis

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

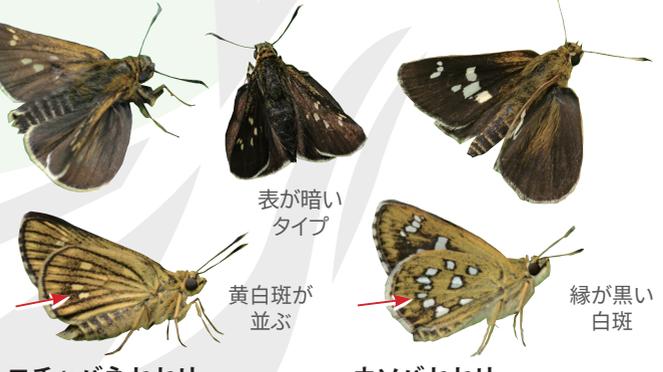
丘陵地～山地の林縁

オオチャバネセセリ

Zinaida pellucida

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

丘陵地の林縁や樹林周囲の草地

小さい白斑が
弧状に並ぶ表が暗い
タイプ黄白斑が
並ぶ縁が黒い
白斑

チャバネセセリ

Pelopidas mathias

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

コチャバネセセリ

Thoresa varia

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ホソバセセリ

Isoteinon lamprospilus

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Butterfly Conservation Europe (ヨーロッパチョウ類保全協会) と UK Center for Ecology and Hydrology (UKCEH: イギリス生態・水文学研究所) は、ヨーロッパのチョウ類モニタリングスキーム (eBMS) を設立し、ヨーロッパの様々な国で行われているチョウのモニタリングのデータを集積しています。すべてのデータはeBMSのデータベースで共有され、チョウの個体群の動向について解析されています。これらのデータは、チョウと生息地の保全のための基本情報となります。

日本チョウ類保全協会では、チョウのモニタリングのプロジェクトを2022年より開始し、多くのボランティアの皆さまの協力を得て、日本の様々な環境・地域のチョウのデータを集積しています。これらのデータは、生物多様性の保全のために活用します。

チョウのモニタリング調査にご協力いただける場合には、下記までご連絡ください。現在、eBMSのウェブサイト (<https://butterfly-monitoring.net>) は日本語でも利用でき、データはこのサイトを窓口を集積されています。

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

〒140-0014 東京都品川区大井4-1-5-201 TEL/FAX 03-3775-7006 携帯TEL 080-5127-1696

Email : jbcbs@savebutterflies.jp

<https://www.savebutterflies.jp>

この識別ガイドは、eBMSのデザイン提供を受け、地球環境基金の助成を得て作成されました。



モニタリング調査のためのチョウの識別ガイド 中国・四国・九州の低地のチョウ

デザイン: Eveline van der Jagt・Cristina G. Sevilleja (eBMS)

作成: 日本チョウ類保全協会モニタリングプロジェクト担当

中村康弘・益永 葉・白戸竣・清水郁子

参考文献: 日本チョウ類保全協会編「フィールドガイド日本のチョウ」
(誠文堂新光社発行)

発行日: 2024年3月31日

※地域によって見られるチョウの種が異なることから、この識別ガイドは地域ごとに作成しています。

成虫の見られる時期 (月単位)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

成虫のサイズ:



小型



中型



大型

性別:

♂ オス

♀ メス

識別ポイント:



UK Centre for
Ecology & Hydrology



日本チョウ類保全協会
Japan Butterfly Conservation Society

